令和7年8月4日　第1回釈迦堂川流域水害対策協議会

流域治水

- 令和７年８月４日に「第1回 釈迦堂川流域水害対策協議会」を開催。
- 「釈迦堂川流域水害対策計画」について事務局より説明を行い、「計画期間」・「計画対象降雨」について了承され、引き続き流域水害対策案について関係者で協議を進めていくことを確認した。



東北地方整備局　小田桐（おだぎり）流域治水推進室長（河川調査官）

- 改正となった特定都市河川指定法の枠組みを活用し、流域治水の取組みを推進するため、令和6年3月に釈迦堂川等が特定都市河川指定に指定され、流域水害対策協議会が令和6年5月31日に発足された。
- 流域水害対策計画の策定に向けて、流域の特性等を踏まえながら、水害による被害軽減に向けた効果的な対策内容を関係機関の皆様と協議していきたい。



日本大学　朝岡（あさおか）教授（座長）

- 流域水害対策協議会では流域水害対策計画の策定を目的としており、本日は主に計画期間と対象降雨について協議を行いたい。
- 釈迦堂川は、洪水時に阿武隈川のバックウォーターの影響を受けやすい特徴がある。
  阿武隈川の整備も踏まえて、釈迦堂川の流域水害対策計画を検討していく必要がある。
- 気候変動への影響に適応しながら、釈迦堂川にふさわしい流域水害対策計画を共に考えて参りたい。



矢吹町（やぶきまち）　蛭田（ひるた）町長

- 阿武隈川と釈迦堂川の合流部におけるバックウォーターの話があったが、上流遊水地群が整備されることでどの程度緩和されるかといった点を検討していただきたい。
- 規模の大きい洪水に対して、上流遊水地群でどのように洪水をコントロールするのかという点が大事なテーマである。下流の負荷軽減のため、洪水のピークをずらすという戦術をそれぞれに持っていただきたい。



天栄村（てんえいむら）　添田（そえた）村長

- 上流域の対策として、ため池の活用を浚渫等の整備を行いながら考えていきたい。
  田んぼダムについても、ピークをずらすという点を上流域の市町村として理解をしている。
- これらの取組みを推進するにあたって、財政措置等も踏まえながら考えて参りたい。



日本大学　市岡（いちおか）専任講師

- 実際に雨が降った時に、どこで何をどう対応したら良いのかを瞬時に判断することは難しい。
- どのような連絡体制をとっていくのかという点についても、強化を進めていただければと考える。



福島県　野地（のち）土木部参事

- 本日頂いたご意見を活かして釈迦堂川流域水害対策計画を策定していきたいと思うので、引き続きよろしくお願いしたい。



【出席者】

福島県知事（代理）野地土木部参事
白河市長（代理）兼子建設部長
須賀川市　大寺市長
鏡石町　木賊町長
天栄村　添田村長
西郷村長（代理）添田建設課長
泉崎村　箭内村長
矢吹町　蛭田町長
福島地方気象台　平野台長
東北農政局農村振興部長（代理）平山地方参事官
福島森林管理署白河支署　飯村支署長
日本大学　朝岡教授【座長】
福島大学　川越教授
日本大学　市岡専任講師
東北地方整備局長【会長】（代理）小田桐流域治水推進室長（河川調査官）